



税理士・社会保険労務士・中小企業診断士

みずの通信

水野会計事務所

500-8288 岐阜市中鶯 3-70-7
TEL058-273-2484 FAX058-273-2416

2016.3

小規模企業共済制度が改正され、使い勝手がよくなります。その一部を紹介します・

- 1 事業を子供等に譲渡した場合も、準共済事由からA共済事由となります。
- 2 役員を退任した時が65歳以上である場合も、準共済事由からB共済事由になります。
- 3 申し込みの際の申込金が必要なくなります。
- 4 掛金の減額が容易になります。

共済金は、A共済事由が一番多く、B共済事由、準共済事由の順で、減額されていきます。

今まではA共済事由は、個人事業主の場合は、死亡、廃業、会社役員の場合は会社の解散等でした。

ただ、申込金がないということは、12月31日間に申し込んで、年払いで申込金を支払い、年額を所得控除するという、駆け込み加入して節税するという方法がなくなることも意味します。

公益法人の業務執行権を持つ理事は、3か月に1回、理事会でその職務執行状況を報告する義務があります。この規定は会社法にもありますが、同族会社がほとんどですから、守られているのをみたことはありません。

一般社団法人や一般財団法人もこの規定が適用されるのですが、監督官庁がないことから守られているかどうかはと思います。ただ非同族法人ですから、何らかの事件が生じた場合、守っていないと役員の業務過怠による損害賠償事由にはなりません。

公益法人は監督官庁のチェック項目になっています。

なお、定款で定めれば、毎事業年度、4か月以上の間隔で2回以上の報告でよいとされています。

私は、この規定により、予算理事会（3月）と決算理事会（5月）の間が4か月以上にならないので、理事会は年3回必要になると思いました。決算時（5月）、中間時（12月）、予算時（3月）というようにです。しかしながら決算理事会と予算理事会の2回でよいようです。事業年度が違えば、4か月以上は必要ないという解釈だそうです。

傷病手当金の算定基礎の標準報酬月額が、当該月の標準報酬月額から直近1年間の標準報酬月額の平均額となります。

2月11日の祭日に近鉄主催の揖斐川町のハイキングに行ってきました。前日、前々日の寒さから、どうなることかと思っていましたが、日差しは暖かく、風は穏やかで、空気はひんやりとして、絶好のハイキング日和となりました。

揖斐川町は山々が近いわりに平地が広がり、うっすらと雪化粧した山々が見渡せます。街中ではポイントポイントが設けてあり、そこでは温かいおもてなしを受けることができます。終点は造り酒屋でおでん等が販売され、地酒の試飲ができます。

何となく遠くに来たような、楽しい一日でした。トイレの心配はほとんどありません。



織田信長が岐阜に入城し、岐阜の町をさらに発展させ、岐阜を拠点として天下布武の野望を实践してきたことは皆さんよく知って見えると思いますが、どの戦国ドラマも、舞台は戦場、岐阜を拠点にしていな

がら岐阜の描写は少なく、治政の部分がクローズアップされることはありません。

そのようなことから、岐阜市が岐阜市出身の作家、早見俊に依頼して、岐阜を舞台にした信長の物語が連載されています。題名は「醒睡の都（岐阜信長譜）」です。ウェブ小説で、「歴史行路」という徳間書店？のサイトで、登録すれば無料で読むことができます。決して安直なものではなく、意外と面白いですよ。今までと視点が違う分、新鮮な信長物語となっています。

ちなみに、醒睡＝せいすい、信長譜＝しんちょうふ、と読むようです。「しんちょうふ」は、信長のことを書いた「信長公記」が「しんちょうこうき」と読むことから良しとしても、「せいすい」は読めないですよ。意味もよくわからないし、読めない字は題名にしないほうがよいと思うのですが。滋賀県の地名に「醒ヶ井（さめがい）」があるので、「さめ」と読むのはわかるのですが。

毎年、私は岐阜の梅林公園の梅まつりを楽しみにしています。梅林公園の梅が観たいからという理由ではありません。

柳ヶ瀬から美殿町を下って梅林公園に向かうと、その途中に瑞龍寺があります。瑞龍寺は梅まつりの時だけ特別に公開されます。そして瑞龍寺には緋紅梅の素晴らしい梅の木があります。梅まつりの時に梅が満開であれば、今年は「ラッキー」ということになり、梅まつりの時に梅が咲いていなければ、その年は、がっかりしながら梅の咲いていない緋紅梅の木を観、満開となった日には閉ざされた門の隙間からその梅を垣間見ることになります。

今年の梅まつりは3月12日（土）と13日（日）、満開の緋紅梅、観ることができるでしょうか。

携帯用卓上計算機、カシオが今は主流かもしれませんが、私は、反応とタッチの良さで、シャープの携帯用卓上計算機が好きです。でもだんだんごつくなり、携帯には不便となり、使いづらいものとなりました。

長い計算がしたい場合は計算違い等もありますから、エクセルを使って計算するほうが履歴も残ってチェック訂正もしやすいので、計算機を敬遠しがちになります。計算機も履歴が残り訂正も遡ってできると便利なのにと考えていたら、I p a d m i n iを買って、計算機の無料ソフトをダウンロードしたら、計算履歴が表示される計算機になっています。シャープがニーズに合わない製品開発ばかりしていると言われる所以の一つでしょうか。シャープのポケットコンピューターが出始めたときも、大いに活用させてもらいましたが、今は私に使えるような代物ではなくなりました。

ローマ時代の物語は、塩野七生の「ローマ人の物語」に勝るものはないと思っていましたが、佐藤賢一作の「ハンニバル戦争」はすごいです。佳境に入ると、読んでいてのどがカラカラになるとはこのことかと思わせる迫力です。男性向きかもしれませんが、久々の百点満点の小説です。

第二次ポエム戦争、カルタゴの天才戦略家、ハンニバルがローマに迫ります。翻弄されまくるローマ軍、ローマは滅びてしまうのか。そのなかで数々の戦いで敗れながら九死に一生を得、生き抜いたスキピオが、ハンニバルの戦術を研究し尽くし、その戦術を己がものにして逆襲に転じます。

史実に基づいた壮大な歴史ファンタジーでしょうか。

山路来て 何やらゆかし すみれ草（松尾芭蕉）

